

令和6年度後期学校評価について

令和7年3月4日

「自己の成長をめざし、仲間とがんばる子」の育成

鯖江市鯖江東小学校

暦の上では春となりましたが、まだ寒い日が続きます。そんな中でも子供たちは毎日元気よく学校生活を送っています。昨年12月には、本校の教育活動について評価をしていただきありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。皆様からいただいた評価やご意見を、今後の教育活動に生かしていきますので引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

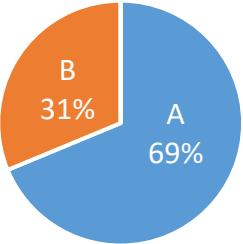
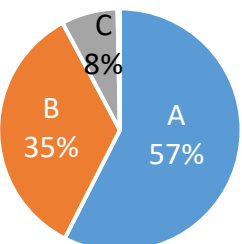
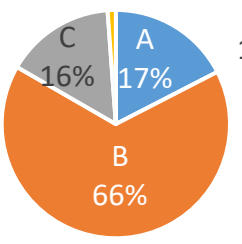
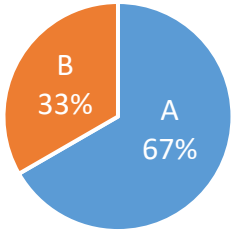
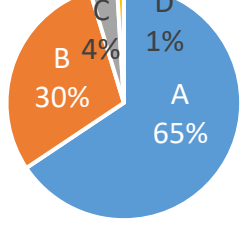
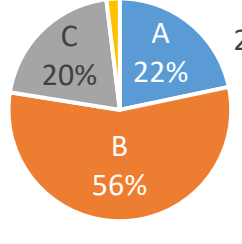
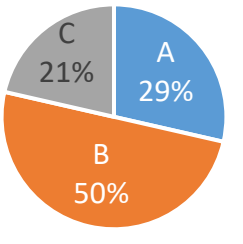
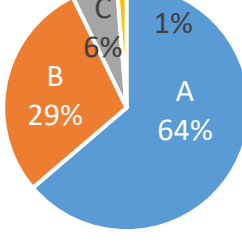
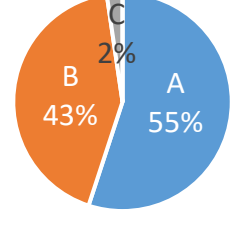
1 確かな学力

A:よくできた	B:だいたいできた
C:あまりできなかった	D:できなかった

	教員	児童	保護者
主体的な学びに向けた授業づくり	児童が意欲をもって学ぶため、魅力ある課題や思考が深まる場の設定の工夫に努めた。	授業で自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりできた。	お子様は、学ぶ意欲をもって、学習に取り組むことができています。
対話の土台づくり(話すから聴くへ)	「聴くこと」「話すこと」を通して、自分の考えを深める力が育成できるような授業づくりや授業の雰囲気づくりに努めた。	相手の話をきき、自分だったらどうするか考えることができた。	
基礎基本の定着とICT活用との連携	基礎・基本の定着につながるようなUDの視点を入れた授業・ICTを活用した授業づくりに努めた。	授業で学習した内容が理解できた。	お子様は、学習内容を理解し、基礎的な知識が身についている。

前期「相手の話をきき、自分だったらどうするか考えることができた。」について、達成率は高いが子どもの発表のみに終わる場面が多く、そこからのつながりがあまり見られないとお伝えしました。しかし後期は、友達の発表を聞いてうなずいたり、相づちを打ったりするなど、友達の話を受け入れ反応している姿が見られました。また、教師の切り返しの工夫などによって、話し合いに深まりが見られてきています。来年度は友達の発表を聴き「自分だったらどうするか」考え反応し、ペア学習やグループ学習で自分の考えを伝え、子ども同士が話し合うことで、どんどん学びが深まっていくような授業づくりに取り組んでいきます。

2 豊かな心

	教員	児童	保護者																										
規範意識 と思いやる心の育成	学校内外の規則を守るように指導することができた。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>69%</td></tr><tr><td>B</td><td>31%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	69%	B	31%	集合時刻や活動時間を守ろうとすることができた。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>57%</td></tr><tr><td>B</td><td>35%</td></tr><tr><td>C</td><td>8%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	57%	B	35%	C	8%	お子様は、時間の約束や家庭で決まったルールをまもっている。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>17%</td></tr><tr><td>B</td><td>66%</td></tr><tr><td>C</td><td>16%</td></tr><tr><td>D</td><td>1%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	17%	B	66%	C	16%	D	1%		
Category	Percentage																												
A	69%																												
B	31%																												
Category	Percentage																												
A	57%																												
B	35%																												
C	8%																												
Category	Percentage																												
A	17%																												
B	66%																												
C	16%																												
D	1%																												
自己効力感・自己有用感・自己肯定感の醸成	委員会・係の仕事や手伝いなどに進んで取り組んだり、人のために役立つ活動に自主的に取り組んだりするように働きかけができた。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>67%</td></tr><tr><td>B</td><td>33%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	67%	B	33%	委員会・係の仕事やお手伝いなどに進んで取り組み、ほかの人のために役立つことができた。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>65%</td></tr><tr><td>B</td><td>30%</td></tr><tr><td>C</td><td>4%</td></tr><tr><td>D</td><td>1%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	65%	B	30%	C	4%	D	1%	お子様は、家族の一員として、お手伝いなどに進んで取り組み、家族のために役立つことができています。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>22%</td></tr><tr><td>B</td><td>56%</td></tr><tr><td>C</td><td>20%</td></tr><tr><td>D</td><td>2%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	22%	B	56%	C	20%	D	2%
Category	Percentage																												
A	67%																												
B	33%																												
Category	Percentage																												
A	65%																												
B	30%																												
C	4%																												
D	1%																												
Category	Percentage																												
A	22%																												
B	56%																												
C	20%																												
D	2%																												
集団での主体的な活動の推進	学年に応じて、適切な時期にポジティブ教育の実施や、異学年交流することができた。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>29%</td></tr><tr><td>B</td><td>50%</td></tr><tr><td>C</td><td>21%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	29%	B	50%	C	21%	クラスや学校が楽しい。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>64%</td></tr><tr><td>B</td><td>29%</td></tr><tr><td>C</td><td>6%</td></tr><tr><td>D</td><td>1%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	64%	B	29%	C	6%	D	1%	お子様は、学校・学級に通えている。  <table><tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr><tr><td>A</td><td>55%</td></tr><tr><td>B</td><td>43%</td></tr><tr><td>C</td><td>2%</td></tr></table>	Category	Percentage	A	55%	B	43%	C	2%
Category	Percentage																												
A	29%																												
B	50%																												
C	21%																												
Category	Percentage																												
A	64%																												
B	29%																												
C	6%																												
D	1%																												
Category	Percentage																												
A	55%																												
B	43%																												
C	2%																												

今年度は「規範意識と思いやる心の育成」として「時間を守る」を重点項目に設定しました。集団行動を円滑に行うためには、時間の意識が大切です。特に後期には2分前着席など、生活目標に合わせて、クラスで具体的な目標を立て実施することができました。また、委員会や係活動だけでなく、各クラスでの係活動が意欲的に活動できる内容を設定したことで、児童の達成感も前期と比べさらに高まったと考えています。来年度も、自己効力感(これはできると自分を信じることのできる感情)、自己有用感(自分が誰かの役に立っているという感情)、自己肯定感(ありのままの自分でいいんだよという感情)を醸成していくため、子どもたちが主体的に活動できる場面を増やしていきます。

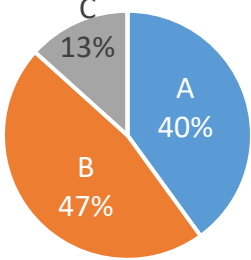
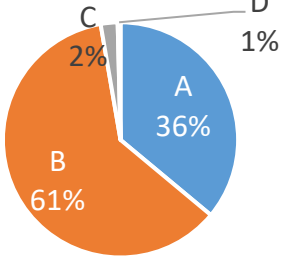
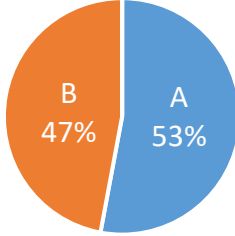
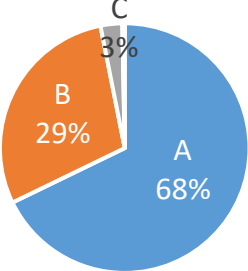
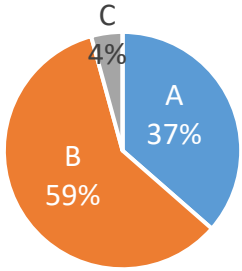
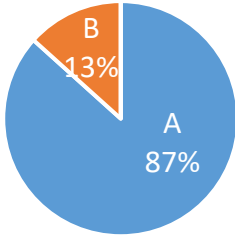
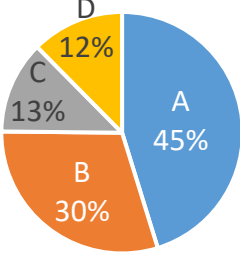
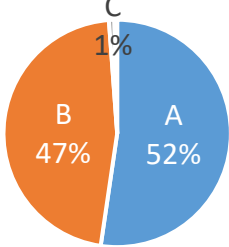
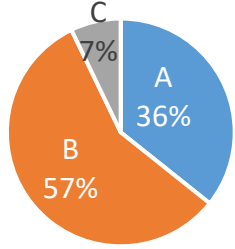
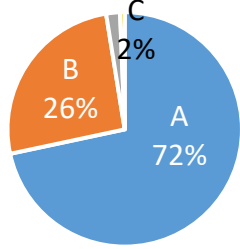
3 健やかな体

	教員	児童	保護者
効果的な体力づくりの 推進（環境作りやカリキ ュラムの工夫）	児童の体力の維持・向上に努めたり、学習内容を工夫したりすることができた。	体育の授業やパワーアップで体を動かすことを頑張れた。	お子様は、運動に取り組んでいる。
健康教育・食育の充実	8時間以上の睡眠時間をとる生活習慣について、児童や保護者に働きかけることに努めた。	毎日、8時間以上の睡眠をとることができた。	お子様は、毎日8時間以上の睡眠時間をとる生活習慣が身についている。
望ましい生活習慣の確立	児童や保護者に対し、鯖東スマートルールの徹底を呼び掛けることに努めた。	「鯖東スマートルール」を守ることができた。	お子様は、鯖東スマートルールを守っている。

昨年度の調査結果を分析し、今年度は「早寝・早起き・朝ご飯」の3つの中で「早寝」に着目し、「8時間以上の睡眠をとる」という目標を設定しました。この目標を達成するために、夏休み前に全校に対して睡眠の授業を行い、休み中に1週間の睡眠時間を記録するよう指導しました。そして2学期には、高学年で自分の睡眠についてふりかえりを行い、睡眠の大切さについての指導をくり返し行いました。これらの取り組みと保護者の方々のご協力により、達成率90%以上の結果につながったようです。

さらに、スマートルールの実施については、10日に1回のチェック方法から、各月の任意の1週間をチェックする方法に今年度変更しました。スマートルール実施期間の呼びかけは、担任から連絡帳やHome&schoolで行いました。スマートルール終了後に、「あまり守っていない」「守っていない」児童に対しての個別指導を学校で実施しましたが、ご家庭でもお子さんと一緒にスマートルールについて話し合い、なぜスマートルールが必要か一緒に考えていただけたらと思います。

4 信頼される学校

	教員	児童	保護者
開かれた学校づくり	Home&School・HP・連絡帳で、積極的に児童の学校での様子を伝えた。 		オープンスクールやHome&School・HP・連絡帳により、学校での子どもの様子が分かった。 
子どもが安心できる学校づくり	人権の視点から自身の言動に留意し、児童の安全を配慮する他、防災について指導し、児童も自分も危機管理意識を高めることができた。 	家庭や地域や学校で、毎日安全に気を付けて生活することができる。 	お子様は、避難・防災・安全の学習の振り返りを通して、家庭でも安全な生活を送ることができた。 
	児童や保護者が相談しやすい環境づくりに努め、いじめの行為が疑われる場合、一人で抱え込まずに、周りの先生に相談や報告をすることができた。 	友達関係で悩みや不安があるときに、お家の人や先生、友達など(アンケートでもよい)に伝えることができた。 	学校は、お子様の様子について、保護者から相談があった場合、問題解決に向けて対応している。 
ふるさと教育の推進	地域を生かした「ふるさと教育」の推進を図った。 	福井県や鯖江市、鯖江東小校区などのふるさとについて学び、ふるさとを大切にしたいと思った。 	

相談しやすい環境づくりについては、2学期教育相談、アンケート、スクールカウンセラーとの面談などを実施しました。しかし、学校評価の結果では25%の児童が「あまりできなかった」「できなかった」との回答となりました。「できなかった」の割合が高くなった要因として、相談することがなくて「できなかった」を選択した児童いることが考えられるため、来年度のアンケートでは、文言を「しっかり相談できた(相談することがなかった)」に変更します。また、担任に言いたいことがあっても、直接言えない児童に対応できるよう、タブレット機器を活用し、心のメッセージを担任や他の相談員等へ伝える手段を増やしていきます。

5 学校関係者評価

1月31日（水）に、家庭・地域・学校協議会が開かれました。協議会では、ロイロノートの利用の話題になりました。ロイロノートはタブレットの学習ツールの1つで、クラスの児童全員が入力した意見を教師が一括に把握できたり、資料を配信したりできるアプリです。また、これによって欠席や不登校の子どもとのやりとりが可能になったり、長期休業中の生活の様子を文字や動画で伝えたりできるなど、コミュニケーションツールとしても利用されています。その他、今年度立ち上がった下校ボランティアの話題が出ました。見守り隊を中心にした下校ボランティアの効果については、「交通事故がなかった」、「登校中しゃがみ込んで動かない子がいるなどの情報が学校に入りやすくなった」、「不審者の情報がなくなった」などの意見が出ました。

他にも多くのご意見をいただきました。協議された事項を今後の学校運営に生かしていきます。

6 保護者アンケートより（ご意見・ご質問）

問 集団登校の欠席連絡について、連絡ない方がいて困ってました。直接伝えさせて頂きましたが揉め事になりました。集団登校班のお知らせの紙を配ってると思いますが、班長からしたら個人情報をばら撒いてるのと同じですので、配るのをやめてほしいです。直接、集合場所に言いに来てもらう形にしてほしいです！

答 来年度からは集団登校のおたよりに班長の電話番号は記載せず、集合場所・集合時刻を共有することとします。班長は出発時刻に学校に向かいますので、お子さんが集団登校できないという連絡は、保護者が集合場所行ったり、班長宅に行ったりして伝えていただけるようお願いします。

問 教室に飾られている集合写真などを、配信してもらえると嬉しいです。

答 行事に関する写真は Home&School にアップしていますが、来年度は集合写真についてもアップします。

問 タブレットが普及し、いろんなことが共有でき便利になったけれど、学童では利用禁止のため、タブレットの宿題が増えても家に帰るまで出来ず不便も感じます。

答 タブレットを使いこなす力は、今後小・中・高に進学する上で不可欠ですが、現在、鯖江市内の学童施設には Wi-Fi 環境は整っていません。そこで、平日に出すタブレット活用の課題は、平均 30 分程度でやり遂げられる量を出していきます。

問 修学旅行のしおりの配布が出発の1週間前で、平日は仕事がありなかなか準備や買い物ができないので、せめて週末が2回ははさむくらいのタイミングでしおりを配布していただきたいです。

答 ご意見ありがとうございます。今後できるだけ早く配布できるよう検討させていただきます。

問 スマートルールを守るよう学校でも強く言ってもらえるとありがたいです。

答 ネットいじめ・架空請求・闇バイトなどインターネット上で様々なトラブルが起きています。それに対して、学校ではインターネット上のトラブルを回避するための方法等を啓発しているところです。ところで、警察庁の調査では、SNS関連の犯罪に巻き込まれた未成年者の約9割がフィルタリングサービスを利用していない状況でした。ネットの活用は大変便利ではありますが、お子さんが犯罪に巻き込まれないように、正しいインターネットの使い方に関して、お子さんと一緒に話し合い、各家庭でルールづくりをしていただきますようお願いします。(県教委作成「親子で考えるフィルタリング設定について」のリーフレットの配布 3月中旬予定)

他にも多くのご意見やご感想をありがとうございました。是非、参考にさせていただき、児童・保護者、地域に貢献できる学校づくりを進めて参ります。今後も、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。